

---

## K P O 上海レポート 2018.02

K P O 上海事務所 / 上海賃遊(インユウ) 広告有限公司  
Tel: +86-21-6467-0487 Fax: +86-21-6473-6872  
E-mail: kuramoto@sh163.net

### 1. 訪日旅行動向

#### ◆ 2月日本送客状況

##### (総括)

大晦日(2/15)の夜は実家で全員が集まり、家族で新年を迎えるという伝統的な考え方が薄まり、海外で新年を迎える人が年々増えている。人気は避寒地であるタイ、3位がシンガポール。2位は日本、TOP10にはアメリカ、北欧、ヨーロッパや NZ など長期ツアーが並んでいる。

訪日旅行はリピーターが増え、東京、大阪ばかりではなく、長崎、岡山、石川、青森など地方都市も人気上昇している。また冬季五輪を開催されていることもあり、スキーを目的とした訪日旅行も人気になっている。

##### (上海地区)

1月と比較すると海外ツアー料金は30~50%上昇しているが、集客は好調。特に欧州の長期ツアーは早々と完売した。人気目的先はタイ、日本、シンガポール、ベトナム、マレーシアの順。

訪日旅行はタイに次いでの人気。冬季オリンピックの影響か、雪が楽しめる地域の人気が高かった。

##### (広東地区)

春節期を海外で過ごしたいという願望が年々高くなり、ツアー料金は値上がりしているが、集客は好調だった。特に暖かい東南アジアやバリ島を除きアイランド・リゾートは人気だった。

北京や上海と比較するとFITよりまだパッケージツアーの方が多く、広東省では訪日団体は順調に集客できた。ただ一部では春節休みが終わるとすぐに新学期が始まることもあり、春節前に出発するツアーに人気が集まった。

#### ◆ 2月日本送客数統計

**江蘇省:**蘇州青年 350 人、無錫中旅 650 人、中国国旅(江蘇)約 600 人

**上海市:**上海錦江 1300 人、上海中旅 100 人、春秋国旅 7,800 人、上航旅遊 380 人

上海携程 3,200 人、(FIT8,500 人)、上海中信 500 人、個人ビザ(1200)、

**浙江省:**浙江中青旅 600 人、浙江美景 800 人、浙江光大星辰 3,000 人、

杭州中国旅行社 500 人

## 紅包

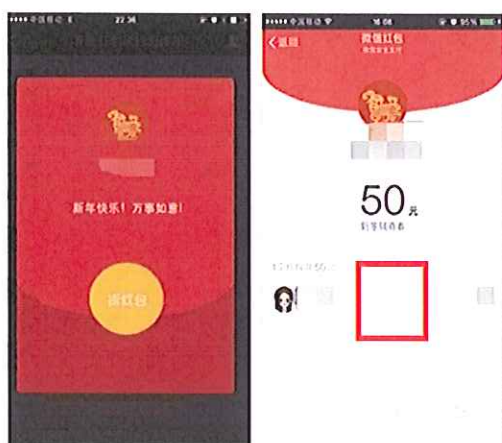


日本で正月の風物詩と言ったらお年玉ですね。中国の春節にも紅包というお年玉があります。一般的にご祝儀の代名詞として「紅包」という言葉が使われますが、春節時期の「紅包」は日本のお年玉に相当します。

写真のように赤い袋に現金を入れ、渡すのが伝統的な作法でしたが、ここ数年、Wechat で渡すのが流行しています。



Wechat の公式発表によると 2/21 時点で、春節期に家族、友人、同僚などと新年の挨拶を Wechat で交換した数はのべ 2,297 億回。その中でのべ 7 億 6800 万人が「紅包」のやり取りをし、新年を祝ったそうです。操作は至って簡単。送りたい人のチャット TOP 画面を開き、「紅包」をクリック、渡したい金額を打ち込めば終了。ただ金額の上限は 200 元、受け取れるのは 24 時間以内。中国で縁起のいい数字は 8 なので、88.88 元とか 188.88 元という金額が好まれるようです。Wechat はモバイル決済機能もあり、APP 内にお金をおけますし、銀行口座とも紐付いているので、気軽にお金のやりとりができます。



私もいくつか「紅包」をもらったのですが、躊躇しているうちに 24 時間制限で、消滅してしまいました。江西省の南昌に住んでいる男性は 3429 の「紅包」を受け取り、今年の最多を記録しています。それだけ友人が多いということなのでしょう。

このサービスを利用しているのは 1990 年以降生まれが全体の 42.5% を占めています。年齢的に言うと 18~28 歳。次に多いのは 1980 年以降に生まれた人で 25.9%。年齢的には 29~39 歳。社会人として働いている人が圧倒的に多い世代です。中には自分の QR コードを名刺に刷り込んだり、名刺交換後に互いのスマホで QR コードを読み取り合っているのをよく目にします。

中国のチャット APP はプライベートからビジネスまで広範囲で使用されていますから、中国ビジネスに関わる人には必須アイテムです。